

からだのメカニズム(資料1-2血糖の流れ)からみる長野市の状況



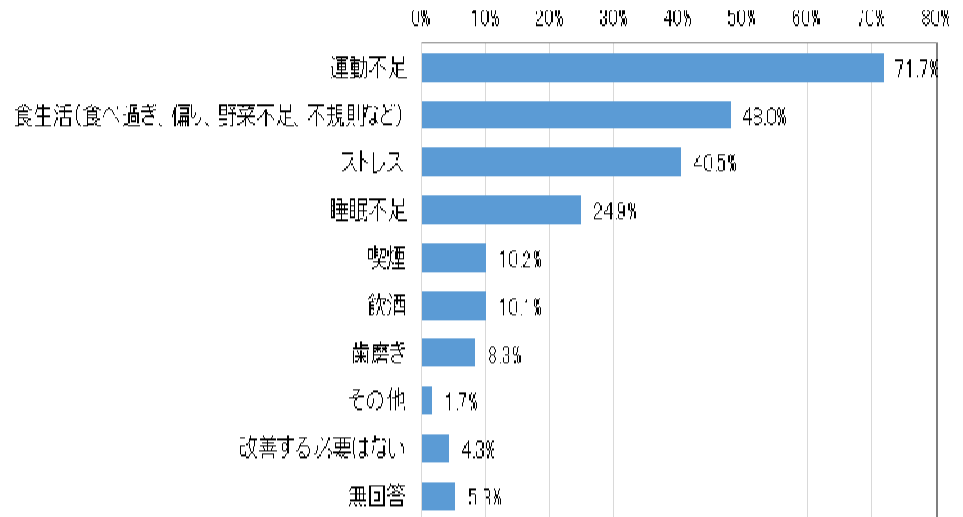
- 人口: 380,473人
- 世帯数: 159,371
- 0～14歳人口: 13.0%
- 15～64歳人口: 58.5%
- 65歳以上人口: 28.9%
- 国保加入者 81,594人
- 国保加入率 21.7%
- 出生数: 2,952人

(平成29年4月1日現在)

1-①食の実態 (総務省家計調査H26～28平均 全国52か所)

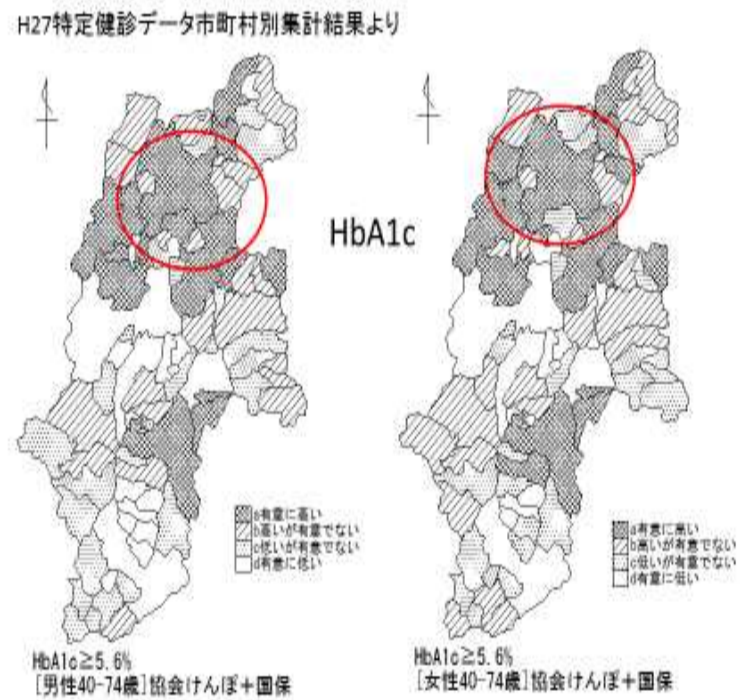
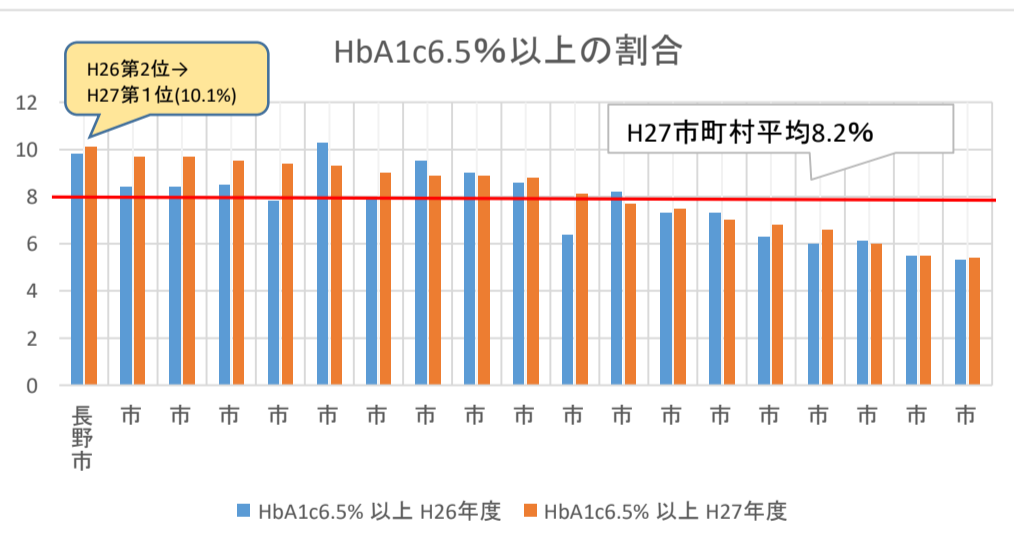
家庭		外食	
砂糖	1位	食堂・レストラン数	2位
酢	2位	そば・うどん	5位
りんご	2位	中華そば	7位
もも	3位	中華料理	8位
ドレッシング	4位		
果物加工品	5位		
小麦粉	1位		
調理パン(金額)	1位		
ワイン(金額)	3位		
食用油(金額)	2位		

1-②市民の生活習慣への意識 (運動不足を改善したい人7割)



◆健診データ (H28国保特定健診結果速報値)			
	割合	対象者数	受診者数
国保特定健診受診率	47.3%	57,254人	27,077人
国保特定保健指導実施率	20.4%	2,585人	528人
メタボ該当者・予備群	27.9% (40～74歳)		
肥満の割合	男性23.2% 女性19.4%	BMI25以上	
HbA1c5.6%以上	79.9%		
HbA1c6.5%以上	14.4%		
HbA1c8.4%以上	0.7%		

3 持続する高血糖状態の人の割合 H27長野市第1位 (県内19市)



資料: 国保保険者における特定健診等結果状況報告書

社会保障費 (H28年度)

◆国保医療費

256億円 (KDB)

☆予防可能な生活習慣病

40億円

糖尿病	15億円
慢性腎臓病	13億円
高血圧	12億円

がん 36億円
精神 29億円

糖尿病とがん

○糖尿病は
肝臓がん2.5倍 すい臓がん1.8倍
子宮体がん2.1倍 大腸がん1.3倍
(Data: JMA, Arch Intern Med 2006; 166:1871-7)

高血糖による酸化ストレス
高インスリン(細胞増殖因子)血症
女性ホルモン作用の高まり

9 高血糖が細胞のがん化に影響 (75歳未満年齢調整死亡率H27)

区分	全国	長野県	長野市
がん (全部の部位)	78.0	62.0	57.1

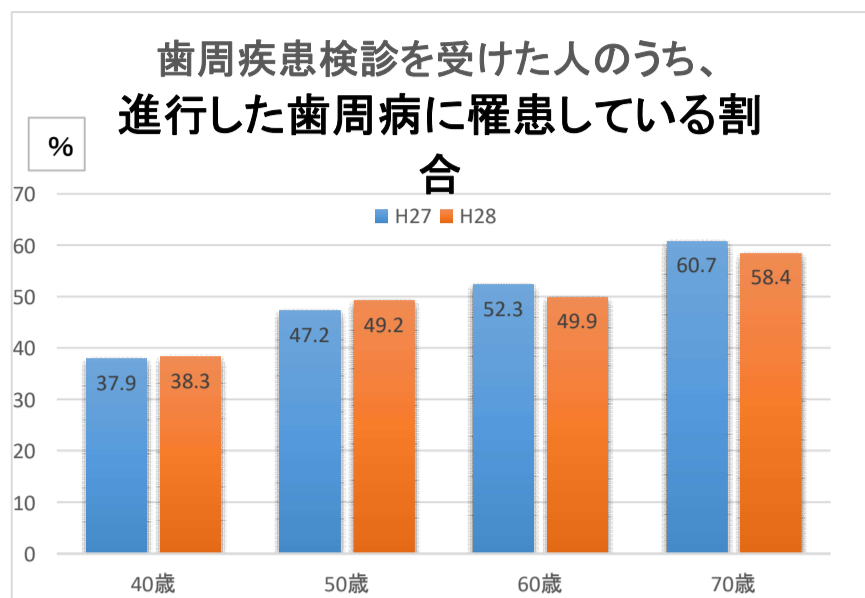
人口10万対

資料: がんの統計'16

長野市の値は人口動態統計より

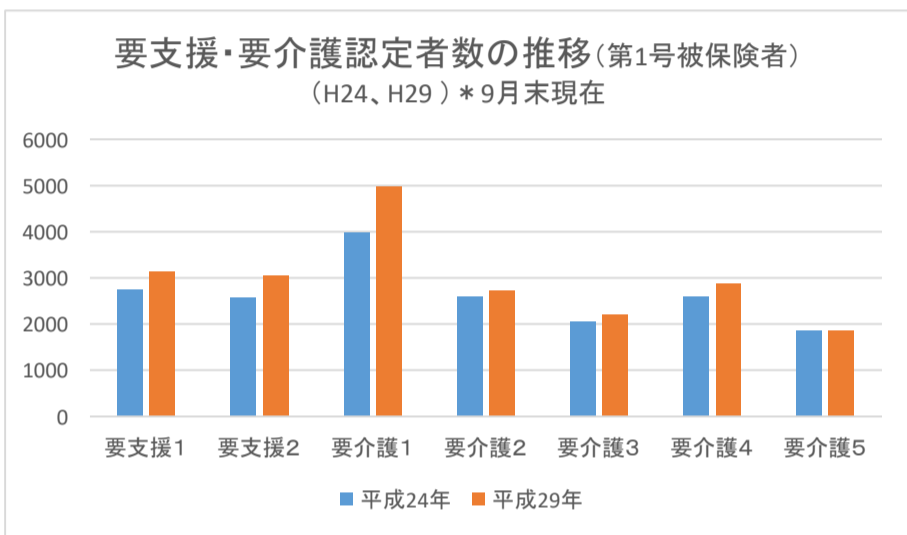
長野市がんの主な部位別死亡数では、平成17年度以降、肺がんが最も多く大腸がん、すい臓がんが増加傾向です。

1.1 高血糖が炎症状態を悪化させ、歯周病菌が動脈硬化をひき起こす



資料:長野市保健所概要

介護が必要な状態・生活障害



資料:介護保険事業状況報告

◆介護費

290 億円 (KDB)

☆2号認定者(40~64歳)有病状況

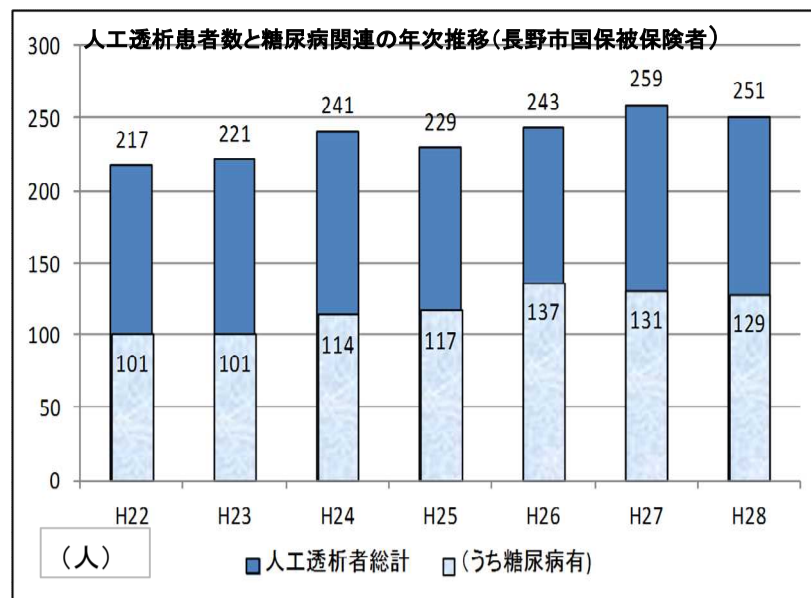
心臓病	34.3%
脳疾患	25.7%
糖尿病	15.6%

◆健康寿命

性別	平均寿命		差
	H22	H28	
男性	81.1歳	80.08歳	差1.02
	健康寿命(H22)	健康寿命(H28)	
女性	87.2歳	84.39歳	差2.81
	健康寿命(H22)	健康寿命(H28)	

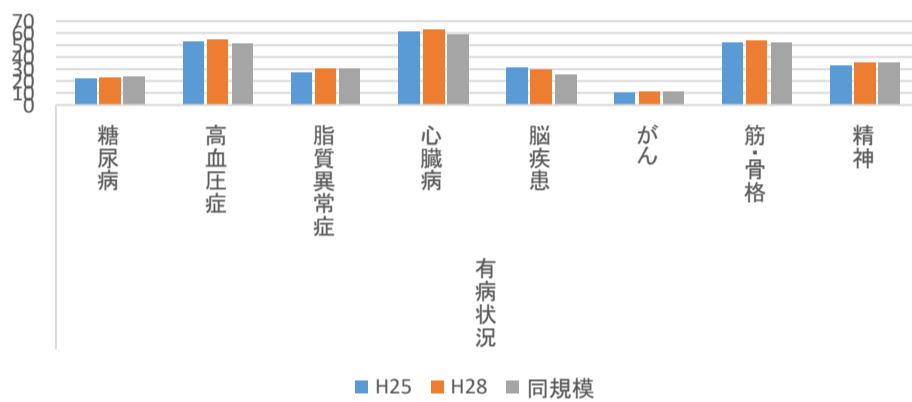
H22完全生命表
H22日常生活動作が自立している期間の平均
H28簡易生命表と人口動態統計
H22完全生命表
H22日常生活動作が自立している期間の平均
H28簡易生命表と人口動態統計

③ 持続する高血糖が血管障害を起こし腎機能等を低下させる

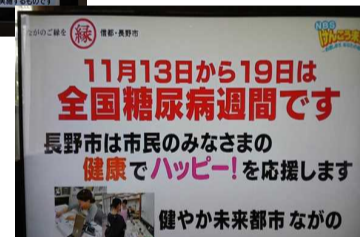
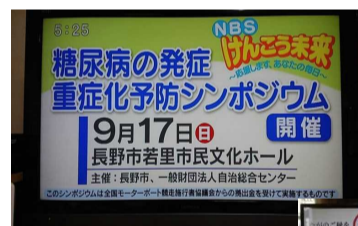


資料:グラフでみる長野県の国保

国保/後期加入者の介護保険認定者の有病状況 (割合) * KDB



資料:国保データベースシステム



【平成29年度「ながの健やかプラン21」に関する主な取組】

○糖尿病の発症・重症化予防シンポジウムの開催(平成29年9月17日(日)長野市若里市民文化ホール)

○マスメディアと協働による健康増進事業の普及啓発

(NBSテレビ「けんこう未来」キャンペーンでの長野市CM作成、平成29年9月、11月に放送)

○かかりつけ医等と連携した糖尿病性腎症重症化予防保健指導の実施(糖尿病性腎症重症化予防プログラム)

国保特定健診の結果から、「HbA1c6.5%以上の未治療者及び現在、糖尿病により医療機関受診中のHbA1c7.0%以上の患者のうち、糖尿病性腎症の病期が2期、3期及び4期と思われる人、糖尿病性腎症を発症していないが高血圧、喫煙者等の発症リスク要因を有する人」へ重症化や医療中断をしないよう主治医と確認しながら、保健師・管理栄養士が訪問等により、食事や運動等のアドバイスをを行い、健康と生活の質の維持をサポートするもの。